

宮古

ワイドーぱり

「活力ある農業」の意味(ワイドー=がんばれ、ぱり=畑)

発行所

宮古農林水産振興センター農業改良普及課

〒906-0012 宮古島市平良字西里1125

TEL : 0980-72-3149

FAX : 0980-72-9751



令和6年度 農業改良普及指導活動について

今年度は人事異動者4名と比較的少ない職員の入替わりですが、より効果的な普及活動となるよう新たな体制で業務推進に当たって参ります。

当課では、【沖縄県協同農業普及事業の実施に関する方針】に基づき、農林水産部の長期計画である【新・沖縄21世紀農林水産業振興計画】の達成に向け、

- ①担い手の育成・確保と経営力の強化
- ②宮古ブランドの産地育成と生産体制への支援
- ③環境に配慮した持続可能な農業生産
- ④魅力と活力ある農村の振興

の4つを柱に、令和5年度からの5カ年計画【普及指導基本計画】と令和6年度【普及指導計画】を策定し、普及指導課題と指導対象を重点化しながら計画的な普及活動を展開します。

農家の皆さんや地域に接した農林水産部の最前線機関として、宮古島市や多良間村、JAや製糖工場、農業共済等の関係機関、農家組織との連携を密にし、当地域に合った各種栽培技術や経営能力の向上を支援し、優れた農業者の育成・確保とともに宮古ブランドの確立等を目指していきます。また、組織力を最大限に発揮できるように特に重要な課題に対しては、プロジェクトチームを設置し、班を横断した総合的な支援体制を構築して取り組み、効果的な業務を推進して参りますので、今年度もご協力のほどよろしくお願ひします。

令和6年度 活動体制

課長 友利仁志

普及企画班

班長	下地善郎	地域調整
主幹	謝花治	担い手 (新規就農)
主任技師	池間早苗	農業経営
主任技師	普天間梢	地域営農
主任	池城梨央	農産物活用
技師	中村雄一	担い手 (農業士・青年)

農業技術班

班長	神里春樹	工芸作物 普通作物
主任	藤森沙羅	果樹
主任	波多野有咲	施設野菜
主任	友利柚	露地野菜
技師	宮平わかな	畜産
技師	砂川響樹	工芸作物

多良間駐在

技師	春島大河	普及事業 全般
----	------	------------

- 〈プロジェクトチーム〉
- ・農業経営支援チーム
 - ・担い手育成対策チーム
 - ・産地育成強化チーム
 - ・地域農業振興総合指導チーム
 - ・スマート農業推進チーム
 - ・普及情報チーム
 - ・耕畜連携推進チーム

※青太字は新担当者



認定農業者制度について



「認定農業者」とは

農業者が、**5年後**を目標年度とする「**農業経営改善計画**」を作成し、市町村の定める「**基本構想**」の**目標所得**、**労働時間**の達成に向けて取り組むこととして、認定を受けた農業者です。

●認定

一つの市町村内で営農する場合は当該市町村（宮古島市または多良間村）、同じ県内で複数の市町村で営農する場合は県（窓口は農業改良普及課）、複数の県にまたがって営農する場合は国（窓口は沖縄総合事務局）が認定します。

●メリット

- ・認定を受けることは任意ですが、補助事業によっては認定農業者が要件となっているものがあります。また、金融公庫のスーパーL資金(※)が利用できます。
- ・農地のあっせんを受ける場合は、認定農業者および認定新規就農者が優先されます。
- ・一定の要件を満たすと農業者年金保険料の国庫補助の対象になります。

※ 農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）

- ・所要額の満額を借入申請できる（融資率100パーセント）。
- ・市町村が作成する「地域計画」の目標地図に位置付けられた者等の、認定農業者が借り入れる本資金（負債整理等長期資金は除く）は、貸付当初5年間を実質無利子とする措置がある（予算枠あり）。

●**認定期間は5年間**です。これまでの経営を見直し、新たな目標を定めてステップアップを図るため、最終年（5年目）には**再認定**を受けましょう！

夫婦で！後継者と！

家族経営協定で、共同認定申請できます！

- 「**家族経営協定**」を結び共同経営者になると、パートナーや後継者と**ともに共同認定申請**できます。

くわしくは、農業改良普及課まで！



土壌分析をしてみませんか？

～土壌検診のすすめ～

土の採取方法や提出先など、詳細はホームページでお知らせします

サンプル受付期間

：5月13日（月）～6月27日（木）

サンプルの取り方（注意点）

- ・土は新聞等に広げて完全に乾かす！
- ・細かい石や枝は取り除く！
- ・土は細かく砕いて、ふるいにかける！

なぜ土壌分析をするの？

土壌分析は「畑の土の健康診断」といえるもので、土づくりへの第1歩！
施肥設計を適正に行うためにも土壌分析は重要です。

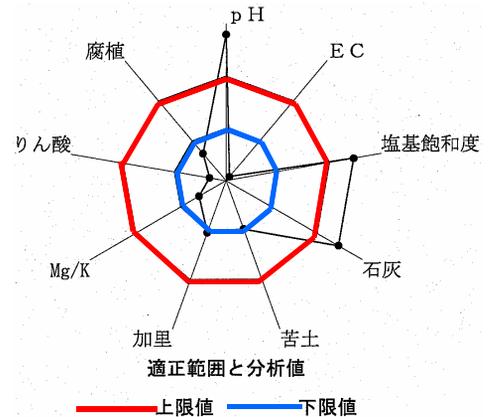
土壌分析で何が分かるの？

pH：作物にはそれぞれに適したpHがあります。
畑のpHと作物の適正pHが合わない場合はpHを調整する必要があります。

EC：土壌中の塩類濃度の目安となります。
一般に、窒素量（硝酸態）との相関が強く、この値が高いと、塩基障害の原因にもなります。

腐植：腐植が増えることで、土壌が団粒化し、根張りや排水性の改善になります。

加里（K）、苦土（Mg）、石灰（Ca）、リン酸（P）
各成分のバランスが分かることで、肥料の選択や使用量が決められます。



土壌分析は毎年行う必要があるの？

毎年分析値を比較することで、次作の肥料の量やあげ方を考えるきっかけになります。



とうがん葉のマグネシウム欠乏

- ①pH、塩基（石灰、苦土、加里）が高くなっていたら
⇒堆肥、肥料、鶏ふんの使い方が正しかったか？
- ②腐植は去年より増えましたか？減りましたか？
⇒堆肥の選び方、使い方が正しかったか？
- ③去年、作物の欠乏・過剰症があらわれた。
⇒塩基のバランスが悪くなっていないか？

特に施設栽培では、肥料の蓄積が多くなるので、
土壌分析を実施して基肥の目安としましょう

オクラ栽培について ～病害虫編～

栽培のPOINT

- ・ かん水しましょう →特に干ばつ時のかん水は収量に大きく影響します！
- ・ 害虫は、早めの予防・防除が大切 →増えると防除が困難に・・・

害虫の特徴と対策

①オオタバコガ

幼虫は葉・茎・実を食害し、穴を空ける。
成長し大きくなった幼虫には農薬が効きにくい。

対策

- ・ 害虫が見える前から BT剤等で定期的に 予防散布・初期防除を行う

- ・ 幼虫が見えた場合は

プレバソンフロアブル5 や フェニックス顆粒水和剤 で防除



②ヨコバイ

葉の裏に多く、急激に増加することが多い。
葉が黄変・萎縮し 生育不良になる。

対策

- ・ 早期防除を徹底する。

登録農薬が少ないため、アブラムシ等と同時防除を行う。

ウララDF や スタークル顆粒水溶剤



③アブラムシ

つぼみや新芽、葉の裏に密集し、被害が大きいと芯止まりとなる。
世代交代が早いため、同じ系統の農薬を継続して使用しないよう注意する。

対策

- ・ 雑草に多いので 除草を行う。
- ・ 生育初期に大量発生することも多いため、早期防除を行う。

ダントツ水溶剤 や コルト顆粒水和剤 等



農薬を使用する際は、必ずラベルを確認してください！

台風対策

施設被害対策



台風から施設を守るため次のことに注意しましょう。

- ・園芸施設共済に加入しましょう。
- ・ビニールの撤去は風雨が強まる前に行いましょう。
- ・台風の大きさによって、側面の防虫ネットのみでも倒壊する可能性があるため、ネットの撤去も考慮しましょう。
- ・周囲に防風林を植栽しましょう。

露地野菜(オクラ)



「草丈50cm未満の場合」

☞ 防風ネットでべたがけする！

「草丈1m未満の場合」

☞ ヒモで株の上下を固定する！

「草丈1m以上の場合」

☞ 草丈30cm程で切り戻す！

★防風ネットのべたがけは茎葉が動かないよう、しっかり固定することが重要です。

マンゴー

【事前準備】

- ・防風ネット、ビニールは破損していませんか？
- ・台風前後に散布する殺菌剤は用意してありますか？
- ・断水した場合の散水用の水は確保できていますか？

【事前対策】

- ・ハウスに防風ネットを設置し、風圧を弱める対策を行いましょう。
- ・銅剤(ICボルドー66Dなど)を散布し、かいよう病等の予防を行いましょう。

【事後対策】

- ・台風通過後は潮害軽減のため、樹上から散水し、塩分を洗い流しましょう。
- ・果実が乾いたら殺菌剤を散布し、炭そ病などを予防しましょう。



吊り棚上の防風ネット

さとうきび

【事前対策】

- ・生育初期の若いさとうきびは折れやすいので、積極的な施肥・かん水で台風前に伸長促進させましょう！
- ・倒伏で圃場に入れなくなる前に、施肥・農薬散布・高倍土など管理作業を済ませておきましょう。

【事後対策】

- ・スプリンクラーのある畑では、速やかに散水して除塩しましょう。
- ・植付け直後の苗が土砂で埋没したら、芽掘り作業で土を除去し、発芽を促しましょう！



スプリンクラーで除塩

台風対策に農業共済制度を活用しましょう！

新規就農サポート講座 受講生募集!

新規就農者が早期に経営確立できるよう、基礎的な内容が学べる講座を開設します。

【受講対象】 就農3年以内の新規就農者、青年農業者、就農希望者 など

【開催場所】 宮古農村青少年教育センター、農業研究センター宮古島支所、他

【申込方法】 受講申込書を **6月7日まで** に農業改良普及課(沖縄県宮古合同庁舎1階)へ提出

	開催日時 (予定)	講座内容
第1回	6月12日(水) 14:00 ~ 16:00	1. 就農するにあたって 2. 新規就農体験 3. 宮古島市の補助事業、農地中間管理機構の取り組み 4. 土づくり
第2回	7月17日(水) 14:00 ~ 16:00	1. 新規就農支援対策 2. 農作業安全の基礎知識(実演) ①農作業安全講習会 ②農業機械操作実習
第3回	8月14日(水) 14:00 ~ 16:00	1. 施設野菜の現状と基礎知識 2. 露地野菜の現状と基礎知識 3. 病虫害防除対策と農薬の適正使用
第4回	9月18日(水) 14:00 ~ 16:00	1. さとうきび栽培の基礎知識 2. 農業委員会の取り組み 3. 農業共済事業 4. GAP(農業生産工程管理)の概要
第5回	10月16日(水) 14:00 ~ 16:00	1. 果樹栽培の基礎知識 2. JA各組織、ファーマーズマーケットあたらす市場の活動 3. 経営管理、農業関係資金、税・記帳代行
第6回	11月13日(水) 13:30 ~ 16:30	1. 農業研究センター宮古島支所視察 2. 農業のプロに学ぶ~現地視察研修~

※開催日時、内容等は都合により変更することがございます。お問い合わせ下さい。

就農ステップアップ講座について

新規就農者等の早期の就農ビジョンの実現と経営確立を目的に、応用的・実践的な内容を加味した講座を開催します。詳しくは、農業改良普及課までお問い合わせください!

【対象者】 30名程度(農業次世代人材投資事業対象者、新規就農一貫支援事業対象者など)

【内容】 講習会や受講生・優良農家での現地検討会を行います。
 全体講座 : 1回(事業要件確認、新規就農者の心得など)
 品目別講座 : ゴーヤー、とうがん、さやいんげん、オクラ、カボチャ、マンゴー、さとうきび、畜産を各1回

【講座の通知方法】 受講者には案内文書を郵送及び電話連絡します。

